

第35回 日本バイオテクノロジー学会年会 プログラム・抄録集



会期：平成24年5月31日(木)、6月1日(金)、2日(土)

年会長：佐藤 恵美子
新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

問い合わせ先：新潟県立大学 人間生活学部健康栄養学科
年会実行委員会 佐藤恵美子・田村朝子

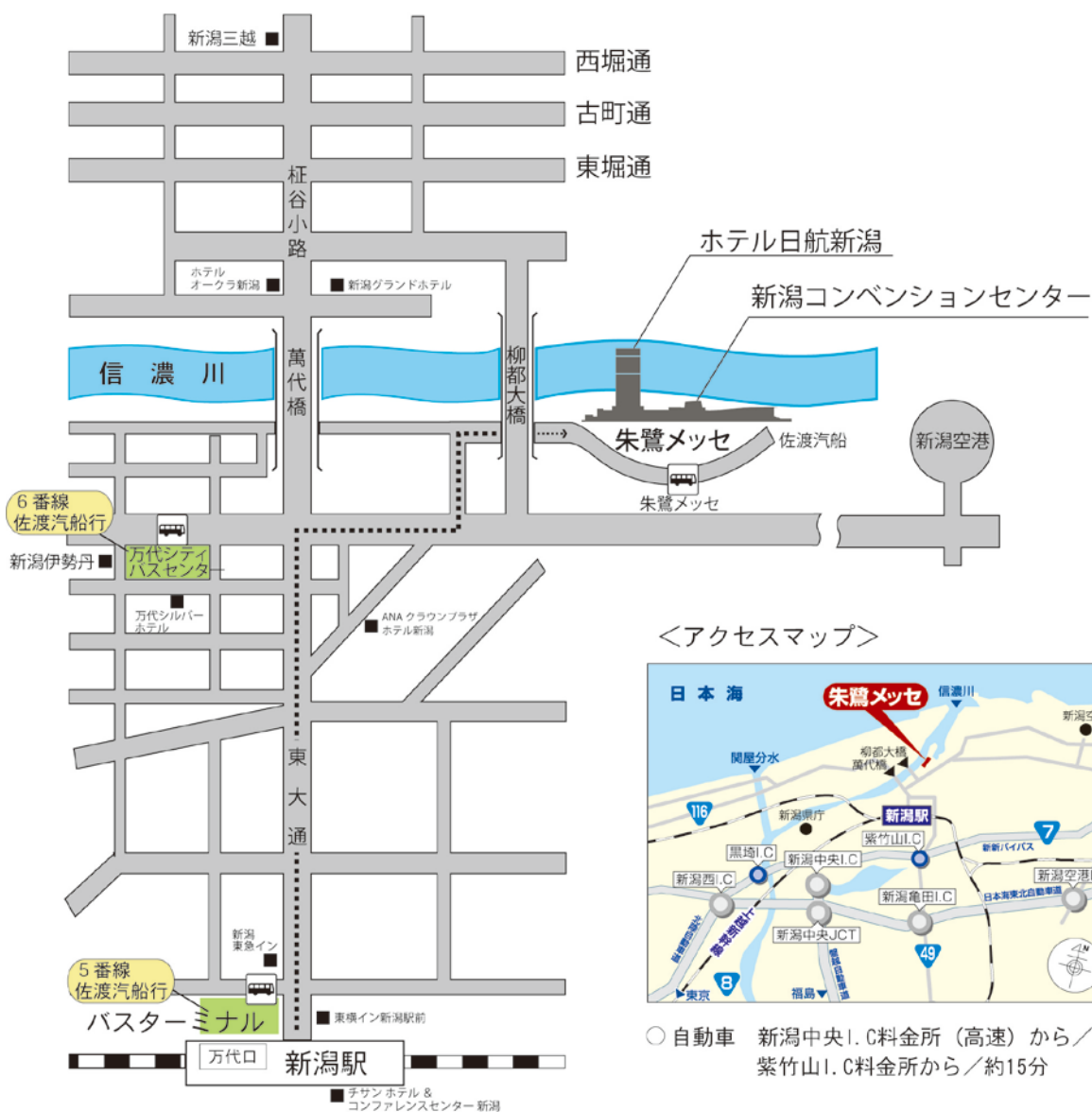
実行組織

年会長	佐藤 恵美子	新潟県立大学
副年会長	鳴海 敬倫	新潟大学工学部
実行委員長	筒井 和美	新潟県立大学 (愛知教育大学)
実行副委員長	藤井 修治	長岡技術科学大学
実行委員	高橋 勉	長岡技術科学大学
	田村 朝子	新潟県立大学
	曾根 英行	新潟県立大学

日本バイオロロジ学会年会のあゆみ

回	年会長	所属	会場	会期
1	深田 栄一	理化学研究所	東京慈恵会医科大学 高木会館講堂	1978/6/19
2	岡 小天	国立循環器病センター	国立循環器病センター 講堂	1979/6/30～7/1
3	東 健彦	信州大学	信州大学 医学部第一講義堂	1980/6/28～29
4	谷口 興一	東京医科歯科大学	東京医科歯科大学 5号館	1981/6/20～21
5	梶谷 文彦	川崎医科大学	川崎医科大学 現代医学教育博物館	1982/6/26～27
6	稲垣 義明	千葉大学	千葉県文化会館 小ホール	1983/6/18～19
7	神谷 瞭	北海道大学	北海道自治会館 自治ホール	1984/6/16～17
8	浅野 牧茂	国立公衆衛生院	国立公衆衛生院 講堂	1985/6/15～16
9	志賀 健	愛媛大学	愛媛県医師会館 ホール	1986/6/11～13
10	磯貝 行秀	東京慈恵会医科大学	東京慈恵会医科大学 高木会館講堂	1987/6/13～16
11	松田 保	金沢大学	金沢大学 医学部十全講堂	1988/6/2～4
12	大島 宣雄	筑波大学	筑波大学 大学会館国際会議室	1989/7/5～7
13	峰下 雄	帝塚山短期大学	奈良県新公会堂	1990/6/21～23
14	品川 嘉也	日本医科大学	日本医科大学 大講堂	1991/6/20～22
15	平川 千里	岐阜大学	岐阜市文化センター	1992/6/25～27
16	菅原 基晃	東京女子医科大学	東京女子医大学 弥生記念講堂	1993/6/16～17
17	松信 八十男	清和大学	エーザイホール	1994/6/17～18
18	貝原 学	帝京大学	TEPCO 地球館	1995/6/15～16
19	辻 隆之	国立循環器病センター	千里ライフサイエンスセンター	1996/6/6～7
20	増田 善昭	千葉大学	千葉大学 けやき会館	1997/6/5～6
21	前田 信治	愛媛大学	エスポワール愛媛文教會館	1998/6/11～13
22	貝原 真	理化学研究所	理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール	1999/6/10～11
23	辻岡 克彦	川崎医科大学	倉敷公民館	2000/6/8～9
24	谷下 一夫	慶應義塾大学	慶應義塾大学 創想館マルチメディアホール	2001/6/7～8
25	大橋 俊夫	信州大学	信州大学 旭会館大会議室	2002/6/6～7
26	西成 勝好	大阪市立大学	大阪市立大学学術情報総合センター	2003/6/5～6
27	内村 功	東京医科歯科大学	東京医科歯科大学 特別講堂	2004/6/10～11
28	佐藤 正明	東北大学	東北大学 マルチメディア教育研究棟	2005/7/7～8
29	丸山 功	九州大学	九州大学医学部 コラボステーション	2006/6/12～13
30	佐々木 直樹	北海道大学	北海道大学 学術交流会館	2007/6/14～15
31	安藤 譲二	東京大学	東京大学理学部 小柴ホール	2008/6/5～6
32	土橋 敏明	群馬大学	桐生市民文化会館	2009/6/4～5
33	氏家 弘	東京労災病院	理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール	2010/6/3～4
34	関 眞佐子	関西大学	関西大学 100周年記念会館	2011/6/3～4
35	佐藤 恵美子	新潟県立大学	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター	2012/5/31～6/2

年会，総会，理事会，リサーチ・フォーラム会場へのアクセス



○自動車 新潟中央I.C料金所（高速）から／約20分
紫竹山I.C料金所から／約15分

●朱鷺メッセへのアクセス

□ JR新潟駅から

バス<佐渡汽船行>…約10分
約20分間隔で発車
「朱鷺メッセ停留所」で下車 200円

タクシー……………約5分
徒歩……………約20分

□新潟空港から

バス<新潟駅南口まで>…約25分
約30分間隔で発車

タクシー……………約20分



朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1

TEL:025-246-8400 / FAX:025-246-8411

年会，総会，理事会，リサーチ・フォーラム，各委員会会場
2階 見取り図

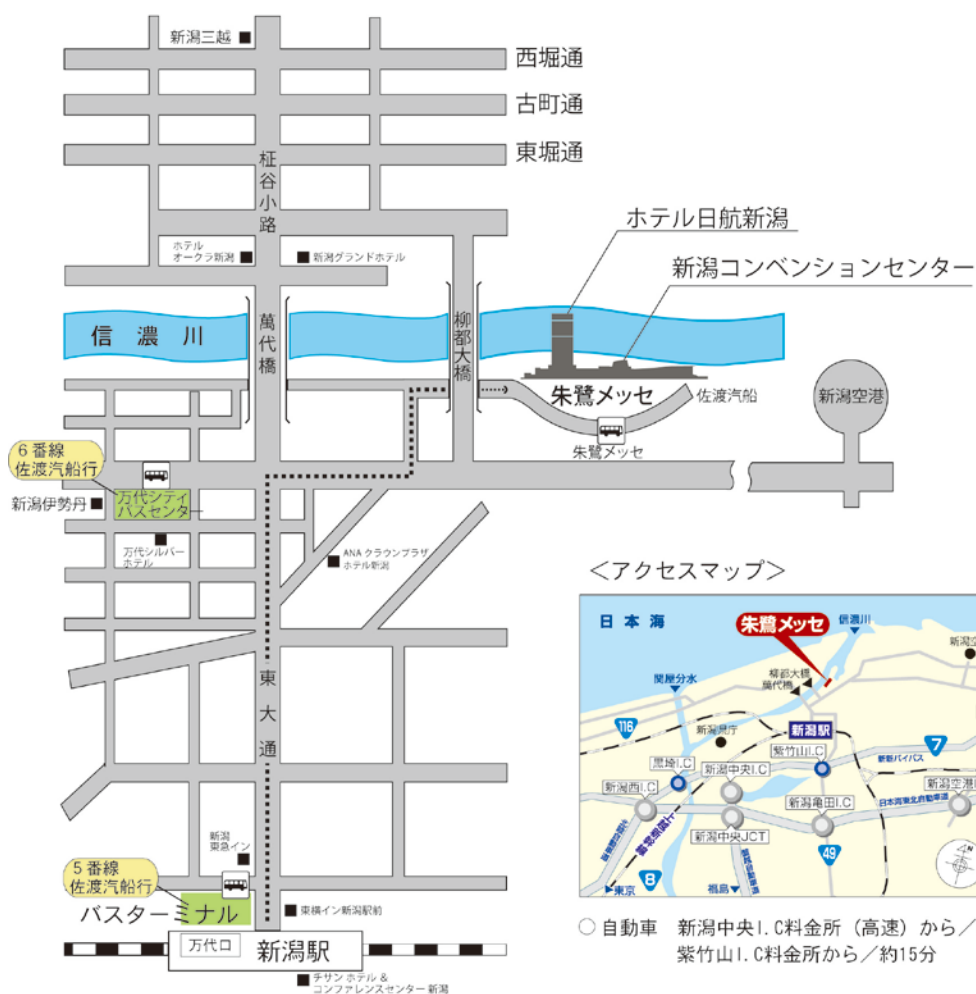


年会会場	第 1 会場	: 中会議室 201
	第 2 会場	: 小会議室 203・204
	ポスター発表	: ホワイエ
総会		: 中会議室 201
理事会評議員会合同会議		: 小会議室 203・204
JBR 編集委員会，電子版 B&R 編集委員会		: 小会議室 203・204
リサーチ・フォーラム会場		: 中会議室 201
大会本部		: 小会議室 202

■インターネット接続サービスについて

2階ホワイエにて無線 LAN によるインターネット接続が可能です。

懇親会会場へのアクセス



<アクセスマップ>



○自動車 新潟中央I.C料金所（高速）から／約20分
紫竹山I.C料金所から／約15分

●朱鷺メッセへのアクセス

JR新潟駅から

バス<佐渡汽船行>…約10分
約20分間隔で発車
「朱鷺メッセ停留所」で下車 200円

タクシー……………約5分
徒歩……………約20分

新潟空港から

バス<新潟駅南口まで>…約25分
約30分間隔で発車

タクシー……………約20分

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1
TEL:025-246-8400/FAX:025-246-8411

懇親会会場： ホテル日航新潟

〒950-0078 新潟市中央区万代島5番1号 TEL:025-240-1888

年会会場の「朱鷺メッセ」連絡通路にて5分

JR新潟駅 万代口バスターミナル からバス 約15分、または 徒歩約20分

※ JR新潟駅よりホテル専用無料シャトルバスもごさいます。

交通のご案内

・朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターまでのアクセス

□鉄道を利用

JR 新潟駅から、

○路線バス（新潟交通）利用の場合

JR 新潟駅万代口バスターミナル 5 番線乗り場「朱鷺メッセ経由佐渡汽船行き」に乗車、
「朱鷺メッセ」バス停下車（約 15 分、200 円）。

○徒歩の場合 約 20 分

○タクシー利用の場合 JR 新潟駅万代口タクシー乗り場より約 5～10 分

□飛行機を利用 新潟空港から

「新潟空港」から空港リムジンバス（新潟駅直行）で「新潟駅南口」下車（約 25 分、400 円）、新潟駅西側連絡通路を通して「新潟駅万代口」へ。万代口バスターミナル 5 番乗り場「朱鷺メッセ経由佐渡汽船行き」に乗り換えて「朱鷺メッセ」バス停下車（約 15 分、200 円）。

□車を利用

○北陸自動車道から（関越自動車道、名神自動車道等を経由）

新潟西 IC. 下車，新潟市街へ：国道 8 号新潟バイパス「紫竹山 IC.」下車 ⇒ 国道 7 号栗の木バイパス ⇒ 万国橋交差点左折 ⇒ 国道 113 号東港線 ⇒ 4 つめの信号右折（新潟西 IC. より約 30 分）。

○磐越自動車道から

新潟中央 IC. 下車，新潟市街へ：国道 8 号新潟バイパス「紫竹山 IC.」下車 ⇒ 国道 7 号栗の木バイパス ⇒ 万国橋交差点左折 ⇒ 国道 113 号東港線 ⇒ 4 つめの信号右折（新潟中央 IC. より約 30 分）。

○日本海東北自動車道から

新潟亀田 IC. 下車，新潟市街へ：国道 49 号亀田バイパス ⇒ 国道 7 号栗の木バイパス ⇒ 万国橋交差点左折 ⇒ 国道 113 号東港線 ⇒ 4 つめの信号右折（新潟亀田 IC. より約 20 分）。

■駐車場について

会場に隣接した「万代島駐車場」をご利用下さい。

駐車料金：最初の 1 時間無料 以降 100 円／30 分，1 日当たり最大 1,500 円

ご 案 内

- ご参加の皆様へ

受 付 時 間 : 6 月 1 日 (金) 8:00 より
場 所 : 朱鷺メッセ 2 階「総合受付」
参加費 : 5,000 円 (会員)
7,000 円 (非会員) (参加費には, 講演抄録集 1 冊の代金が含まれます.)
3,000 円 (学生) (聴講のみの大学院生・学部学生は無料)

講 演 抄 録 集 : 1,000 円
懇 親 会 日 時 : 6 月 1 日 (金) 18:15~20:30
場 所 : ホテル日航新潟 30 階 スカイバンケット鶴
参加費 : 4,000 円 (受付にてお申し込み下さい.)

- 会員の皆様へ

総会
開 催 日 時 : 6 月 2 日 (土) 11:25~11:55
場 所 : 第 1 会場 (中会議室 201)

- 名誉顧問・名誉会員・理事・監事・評議員の皆様へ

理事会評議員会合同会議
開 催 日 時 : 5 月 31 日 (木) 13:00~15:00
場 所 : 第 2 会場 (小会議室 203・204)

- バイオレオロジー・リサーチ・フォーラムご参加の皆様へ

開 催 日 時 : 5 月 31 日 (木) 15:30~17:30
場 所 : 第 1 会場 (中会議室 201)

- JBR 編集委員の皆様へ

JBR 編集委員会
開 催 日 時 : 6 月 1 日 (金) 11:45~12:45
場 所 : 第 2 会場 (小会議室 203・204)
※昼食をご用意いたします.

- 電子版 B&R 編集委員の皆様へ

電子版 B&R 編集委員会
開 催 日 時 : 6 月 2 日 (土) 12:00~13:00
場 所 : 第 2 会場 (小会議室 203・204)
※昼食をご用意いたします.

● **口頭発表セッションの座長の皆様へ**

ご担当されるセッション開始時間の 10 分前までには次座長席にお着き下さい。活発な討論となりますようお願い申し上げます。

● **オーガナイズドセッション、シンポジウム、学会賞受賞講演 発表者の皆様へ**

- (1) オーガナイズドセッション、シンポジウムおよび学術奨励賞応募講演の発表時間は 10 分、討論は 5 分です。学会賞受賞講演につきましては、別途ご連絡いたします。
- (2) 各演者は、発表時間の 30 分前までに受付をお済ませ下さい。
- (3) 会場には、液晶プロジェクターとレーザーポインター、およびマイクをご用意いたします。
- (4) 各演者は前演者が発表している間に次演者席にお着き下さい。

機器の使用について

1. 会場にはコンピュータ切替器 (2 ポート) を用意いたしますので、各演者はご自身のコンピュータを前演者が発表している間に空きポートに接続して下さい。会場にはコンピュータを用意致しませんので、各自でコンピュータをご用意ください。
2. コンピュータの操作は、発表者自身または共同演者で行ってください。
3. 会場には、プロジェクターとの接続コードとしてミニ D-Sub 15 ピン (オス) のケーブルを用意します。(下図参照) 出力端子がこれに合わない場合はアダプタをご持参下さい。また音声は会場スピーカーへの直接出力は準備しておりません。音声ご使用の際は、演者用マイクを近づけるなどして下さい。
4. ノートパソコンは機種によって、端子の形状や操作の異なる場合があります。ご自身のパソコンを熟知した上でお越し下さい。
5. 接続したコンピュータは、電源を切ったりサスペンドの状態などにしたりはしないで、すぐに発表ができる状態にしておいてください。
6. 接続トラブル等による発表時間の延長は認められません。講演開始前の休憩時間に、予め試写をしていただきますようお願いいたします。



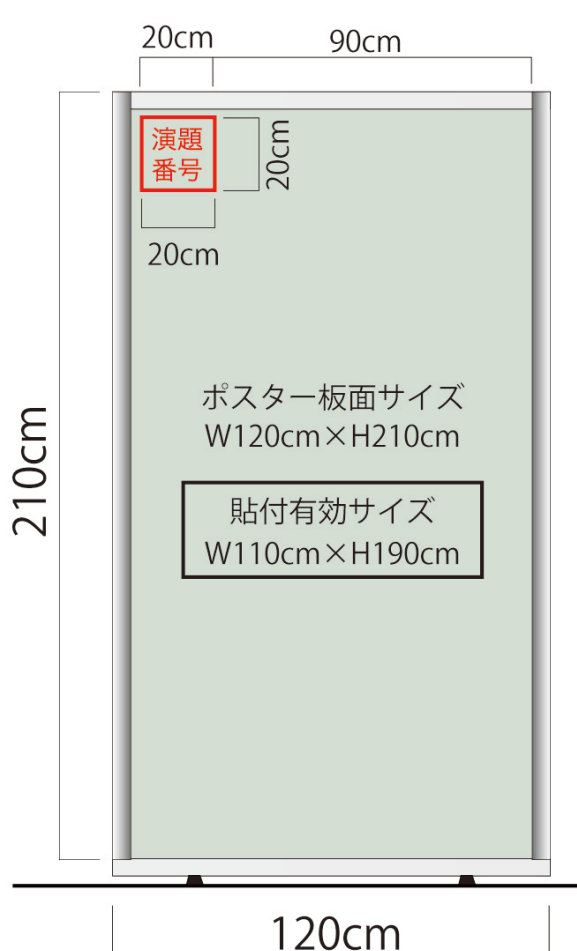
プロジェクター・パソコン接続用ケーブル端子 (D-sub 15 ピン)

● ポスター発表者の皆様へ

- (1) ポスターの掲示は、6月1日（金）12:00までに、指定場所（ホワイエ）に貼りつけてください。（ピンなどは年会にて用意します。）
- (2) ポスターセッションは、6月1日（金）17:10～18:00です。セッション中は、ポスターの前に立ち、聴衆に対して説明と質疑応答を行ってください。
- (3) ポスター発表では、登壇しての発表はありませんが、ポスターセッション中に、演題毎に座長を割り当て、コアタイムを設定します。コアタイムになれば、座長の指示に従い、ポスターの前で5分程度の説明と2分程度の質疑応答を行ってください。なお発表時間および座長については、ポスター掲示用パネル上部に貼り付けてある演題番号下にも記載してあります。
- (4) ポスター前でPCなどを使いながら説明をすることも可能ですが、電源は用意していません。
- (5) ポスターは、6月2日（土）の13:00以降に撤去してください。なお6月2日（土）の18:00を過ぎて放置されているポスターは、年会事務局にて処分します。

ポスターの作成について

1. ポスターを貼り付けるパネルの貼付有効サイズは、ヨコ 110cm×タテ 210cmです。このパネルのサイズに収まるよう、ポスターを作成してください。演題番号は年会でパネル左上端に貼っておきます。（下左図参照）
2. 文字や図表のサイズ、レイアウトを工夫し、離れたところからでもわかりやすいポスターを作成することを心がけてください。
3. 「目的」・「方法」・「結果」・「結論」などを明確にし、目的は左上部に、結論は右下部になるように配置してください。（下右図参照）
4. タイトル・発表者氏名・所属に続いて代表者の連絡先メールアドレスを記入してください。



第35回バイオレオロジー学会年会 ポスターセッション
—ポスターの作成について(例)—

○田村 朝子*, 鳴海 敬倫**, 藤井 修治***, 佐藤 恵美子*
*新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科
**新潟大学 工学部 機械システム工学科
***長岡技術科学大学 工学部
連絡先: web@biorheology.jp

講演タイトル
筆者(発表者に○を付す)
所属
連絡先(代表者のメールアドレス)

これら情報はかならず記載すること

↓

以下、発表内容を
1. 緒言・目的
2. 実験装置および方法
3. 結果
4. 考察
5. 結論
等、項目に分けて記載
(できる限り緒言・目的は左上部、結語は右下部になるように配置する)

フォントサイズ等については、特に指定ませんが、聴講者が読みやすいように比較的大きめのサイズにしておいてください。

ポスターの作成例

バイオレオロジー・リサーチ・フォーラムのご案内

5 月 31 日 (木) 15:30~17:30 第 1 会場

司会：年会長 佐藤恵美子 (新潟県立大学)

「バイオレオロジーと食品テクスチャー」

1. 「食品のレオロジー特性と人の感じるテクスチャー」 神山かおる
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所
2. 「ハイドロコロイドを利用した食品のテクスチャーデザイン」 船見孝博
(三栄源エフ・エフ・アイ)

特別講演のご案内

6 月 1 日 (金) 14:55~16:45 第 1 会場

司会：年会長 佐藤 恵美子 (新潟県立大)

「新潟の食」

1. 「新潟の食—海からの幸とその加工品」 逢坂正樹 (一正蒲鉾株)
2. 「新潟の酒」 渡邊健一 (新潟県醸造試験場)

シンポジウムのご案内

シンポジウム I

6 月 1 日 (金) 10:30~11:30 第 2 会場

「次世代スパコン「京」における生命現象シミュレーション」

オーガナイザー： 後藤信哉 (東海大)
丸山征郎 (鹿児島大)

シンポジウム II

6 月 2 日 (土) 15:15~16:00 第 1 会場

「口腔内咀嚼過程の解析」

オーガナイザー： 市川寿 (長崎大)
吉村美紀 (兵庫県立大)
佐藤恵美子 (新潟県立大)

岡小天賞・論文賞受賞講演のご案内

6月2日(土) 13:00~14:00 第1会場

司会： 谷下一夫(慶応義塾大)

佐藤正明(東北大)

岡小天賞受賞講演

「バイオレオロジーからみた血液微小循環の動態」

大島宣雄(筑波大)

学術奨励賞応募講演のご案内

6月1日(金) 12:50~13:50 第1会場

座長： 土橋敏明(群馬大), 佐々木直樹(北海道大)

優れた研究発表をした若手の日本バイオレオロジー学会会員を顕彰します。応募者の本セッションでの発表に対する審査員の評点で、学術奨励賞受賞論文を決定します。年会3日目の総会で受賞論文名を発表し、受賞者には賞状および副賞として金一封を授与します。

ベストポスター賞選考のご案内

6月1日(金) 16:55~18:00 ポスター発表会場

座長： 関眞佐子(関西大), 榎靖幸(群馬大), 金田勇(酪農学園大), 平尾和子(愛国学園短大), 高橋勉(長岡技術科学大), 中村邦夫(酪農学園大), 田村朝子(新潟県立大), 藤井修治(長岡技術科学大), 鳴海敬倫(新潟大), 市川寿(長崎大院)

優れたポスター発表を行った研究者を顕彰します。本セッションでのポスター発表に対する審査員の評点で、ベストポスター賞受賞論文を決定します。年会3日目の総会で受賞論文名を発表し、受賞者には賞状を授与します。

第35回日本バイオロロジ学会年会プログラム

○印：口頭発表登壇者，またはポスター発表の発表者

第1日目 5月31日(木)

第1会場

15:30～17:30 バイオロロジ・リサーチフォーラム

司会： 佐藤恵美子（新潟県立大）

p.25～27

「バイオロロジと食品テクスチャー」

1 食品のレオロジ特性と人の感じるテクスチャー

○神山かおる（食品総合研究所）

2 ハイドロコロイドを利用した食品のテクスチャーデザイン

○船見孝博（三栄源エフ・エフ・アイ）

第 2 日目 6 月 1 日 (金)

第 1 会場

9:00~10:15 OS1 : 血管障害と流体力学(1)

座長 : 氏家弘 (東京労災病院)

p.31~35

OS1-1 頭蓋内ステント留置による血管形状変化と COMPUTATIONAL FLUID DYNAMICS(CFD)解析

○河野健一 (和歌山労災病院), 田中優子, 藤本剛士, 吉村良, 岡田秀雄, 新谷亜紀,
寺田友昭

OS1-2 脳血管分岐部に発生した様々な形状の動脈瘤モデルによる血流解析

○奥村美奈 (信州大院), 吉野正人 (信州大工), 柿澤幸成 (信州大医),
佐々木哲郎 (相澤病院), 市川陽三, 本郷一博 (信州大医)

OS1-3 血流ストレスに誘発される脳血管壁の慢性炎症疾患としての脳動脈瘤の形成機序の検討

○青木友浩 (京都大院・CREST), 福田美雪, 成宮周

OS1-4 CFD を用いた脳動脈瘤の破裂予測パラメータの検討

○鈴木貴士 (東京理科大院), 高尾洋之 (東京慈恵医大), 村山雄一, 大塚忍 (東京理科大院),
増田俊輔 (東京慈恵医大), Ashraf Mohamed, 銭逸 (マッコーリ大), 山本誠 (東京理科大),
阿部俊昭 (東京慈恵医大)

OS1-5 脳動脈瘤血流解析における基礎モデルの応用

○増田俊輔 (東京慈恵医大), 高尾洋之, 村山雄一, 大塚忍 (東京理科大院), 鈴木貴士,
Ashraf Mohamed (東京慈恵医大), 銭逸 (マッコーリ大), 山本誠 (東京理科大),
阿部俊昭 (東京慈恵医大)

10:30~11:45 OS1 : 血管障害と流体力学(2)

座長 : 深作和明 (理化学研究所)

p.36~40

OS1-6 脳動脈瘤 CFD 解析に近位部形状はどこまで必要か?

—臨床現場で考える CFD 解析標準化への試み—

○佐野貴則 (三重大), 石田藤麿 (三重中央医療センター), 三浦洋一 (三重大),
種村浩 (三重中央医療センター), 梅田靖之 (三重大), 鈴木秀謙, 松島聡,
霜坂辰一 (三重中央医療センター), 滝和郎 (三重大)

OS1-7 破裂脳動脈瘤病理所見と CFD 解析

○梅田靖之 (三重大), 石川達也 (秋田県脳血管研究センター),
石田藤麿 (三重中央医療センター), 三浦洋一 (三重大), 佐野貴則, 松島聡,
霜坂辰一 (三重中央医療センター), 宮田元 (秋田県脳血管研究センター),
滝和郎 (三重大)

OS1-8 ヒト脳動脈瘤の瘤壁の局所的な菲薄, 肥厚, 硬化と流体力学: 術中所見との比較

○八木高伸 (早稲田大), 戸部泰貴, 岩渕祐貴, 山梨桃子, 高村兼司, 岩崎清隆, 山本匡,
梅津光生, 平口心 (北原国際病院), 三登将平, 林祥史, 吉田浩貴, 西谷和敏, 太田禎久,
岡田義文, 菅原道仁, 久保俊朗, 北原茂実

OS1-9 字型曲り部に発生した動脈瘤内流れ

○中島駿（芝浦工大院），氏家弘（東京労災病院），山口隆平（芝浦工大）

OS1-10 脳動脈瘤塞栓術における adjunctive technique

○比嘉隆（東京女子医大），加藤宏一（済生会栗橋病院），氏家弘（東京労災病院），
武田直人（大久保病院），岡田芳和（東京女子医大）

12:50～13:50 学術奨励賞応募講演

座長： 土橋敏明（群馬大），佐々木直樹（北海道大） p.41～44

A-1 新潟県産トマトを活用した高齢者用ゼリーの開発と検討

○筒井和美（新潟県立大），廣神里奈，田村朝子，荒井富佐子，宮西邦夫，佐藤恵美子，
西成勝好（大阪市大院），金巻栄作（金巻屋），二瓶英子（有明ハイツ），秋山美也子

A-2 せん断流におけるキラリティを持った粒子の運動

○牧野真人（関西大），土井正男（東京大院）

A-3 真空紫外円二色性を利用したゼラチンのエイジングの観察

○榎靖幸（群馬大院），渡部翔，松尾光一（広島大），土橋敏明（群馬大院）

A-4 擬似動脈硬化キャピラリーを用いた血流下血栓モニタリングによる血栓傾向の解析

○伊藤隆史（鹿児島大），細川和也（藤森工業），大西朋子，鮫島寿代，永里朋香（鹿児島大），
丸山征郎

14:00～14:45 OS5：ティッシュエンジニアリング・人工臓器（1）

座長： 岩崎清隆（早稲田大） p.45～47

OS5-1 体外循環用遠心型血液ポンプにおけるキャビテーション発生限界の測定

○築谷朋典（国立循環器病研究センター），堀口祐憲（大阪大）

OS5-2 表面粗さを付加した回転せん断負荷装置内の数値流体力学解析

○西田正浩（産業技術総合研究所），丸山修，山根隆志（産業技術総合研究所・神戸大），
松田健一（茨城大），増澤徹

OS5-3 レオメータを用いたせん断速度と活性化凝固時間（ACT）に依存する
血液凝固反応の定量評価

○丸山修（産業技術総合研究所），小阪亮，西田正浩，山根隆志，長田俊幸（三菱重工），
巽英介（国立循環器病研究センター），妙中義之

14:55～16:45 特別講演

司会： 佐藤恵美子（新潟県立大） p.48～49

「新潟の食」

1 新潟の食－海からの幸とその加工品

○逢坂正樹（一正蒲鉾）

2 新潟の酒

○渡邊健一（新潟県醸造試験場）

第 2 会場

9:15~10:15 OS2 : 循環器系ダイナミクスと疾患

座長 : 後藤信哉 (東海大), 山田宏 (九州工業大院)

p.50~53

OS2-1 気管支喘息の粘液排泄動態における気道リモデリングのレオロジー的メリット

○鍋嶋由美子 (富士病院), 辻裕美子 (カウンセリングルームなぎざ),
荻部正巳 (国際医療研究センター), 石川俊男

OS2-2 細動脈血管壁の非ニュートン弾性と動脈瘤成長

○多羅尾範郎 (聖隷クリストファー大)

OS2-3 単軸伸展試験による非動脈硬化性上行大動脈瘤の伸展性の評価

○山田宏 (九州工業大院), 坂田則行 (福岡大), 田代忠, 和田秀一

OS2-4 頸動脈ステント留置術前後における眼動脈血流変化の検討

○林盛人 (東邦大大橋病院), 岩渕聡, 横内哲也 (横浜総合病院),
佐藤健一郎 (東邦大大橋病院), 秋山直美, 宇都宮誠, 飯塚有応

10:30~11:30 シンポジウム I : 次世代スパコン「京」における生命現象シミュレーション

座長 : 横田秀夫 (理化学研究所)

p.54~57

S1-1 細胞内の時空間シミュレータ : RICS の開発

○横田秀夫 (理化学研究所), 須永泰弘, 野田繁穂

S1-2 RICS を用いた細胞内現象のシミュレーション

○須永泰弘 (理化学研究所), 小山隆司 (理化学研究所・富士通イースト),
野田繁穂 (理化学研究所), 横田秀夫

S1-3 RICS を用いた血小板シミュレーションモデルの構築

○七澤洋平 (東海大), 田村典子, 須永泰弘 (理化学研究所), 横田秀夫, 後藤信哉 (東海大)

S1-4 大規模な流体・構造/膜連成問題に適した数値解析法の開発と

多数の赤血球・血小板を含む血流への適用

○杉山和靖 (東京大院・理化学研究所), 伊井仁志 (大阪大院),
高木周 (東京大院・理化学研究所), 松本洋一郎 (東京大院)

14:00~15:00 OS6 : 生体物質の構造形成と機能発現・制御 (1)

座長 : 金田勇 (酪農学園大)

p.58~61

OS6-1 サルモネラべん毛繊維多型変換へのアルコール類の効果

丸山達郎 (群馬大院), ○林史夫, 大澤研二

OS6-2 相平衡とのカップリングによるマイクロカプセルからの薬物輸送制御 (I) 単核の場合

○葉冠紋 (群馬大院), 張志鵬 (台湾中国文化大), 山本隆夫 (群馬大院), 土橋敏明

OS6-3 Effect of flow field on the amyloid fibrillogenesis from β -lactoglobulin solution

○R.K.Sharma (Hokkaido University), N.Sasaki, A.Fukui, K.Furusawa, Hans Peter Bachinger

OS6-4 気管支の浄化に対する繊毛運動と界面活性剤の役割

○多羅尾範郎 (聖隷クリストファー大)

ポスター発表会場

17:10～17:35 ポスターセッション コアタイム (1)

p.62～70

座長： 関真佐子（関西大）

P-1 フィブリン凝集における N 結合糖鎖の役割

○窪田健二（群馬大院），福田貴宏，渡辺直己，外山吉治，行木信一，落合正則（北海道大）

P-2 フィブリノゲンクライオゲル形成に与える

フィブリノゲン分解産物およびベタインの添加効果

○外山吉治（群馬大院），宮本和樹，窪田健二，若松肇，落合正則（北海道大）

P-3 血液保存による赤血球レオロジー機能障害に対する紅蓼由来

サポニン分画の保護のメカニズム

○鈴木洋司（愛媛大院），大久保信孝，寒川慶一，青戸守，満田憲昭

座長： 槇靖幸（群馬大院）

P-4 相平衡とのカップリングによるマイクロカプセルからの薬物輸送制御（Ⅱ）多核の場合

○葉冠紋（群馬大院），張志鵬（台湾中国文化大），山本隆夫（群馬大院），土橋敏明

P-5 フラジェリン Arg₄₃₁ 変異体の作製・べん毛繊維形態・遊泳能力

○小林由佳（群馬大院），林史夫，大澤研二

座長： 金田勇（酪農学園大）

P-6 家蚕の液状絹の誘電緩和法と力学測定によるレオロジー挙動

○富田奈緒子（群馬大院），大塚佑馬，槇靖幸，土橋敏明，中野慎也（東海大），喜多理王，
八木原晋，馬越淳（農生研），中村邦男（酪農学園大）

P-7 ニホンジカの肉質に及ぼす変動要因の影響～兵庫県丹波地域のニホンジカ～

○山下麻美（兵庫県立大），福永知里，吉村美紀

座長： 田村朝子（新潟県立大）

P-8 新潟県産米粉を利用した食品の開発

一本葛・米粉ゲルのレオロジー特性に及ぼすゴマ乳、牛乳添加の影響ー

○草間千陽（新潟県立大），佐竹妙子，秋山真澄，石澤梨奈，永井香菜子，永井紘太，
玉木有子，斎藤英夫（斎藤製粉），佐藤恵美子（新潟県立大）

P-9 振動リード法によるニンジンの粘弾性挙動について～凍結・解凍の影響～

○中村邦男（酪農学園大院），阿久津敦子（酪農学園大）

17:30～17:50 ポスターセッション コアタイム (2)

p.71～78

座長： 高橋勉（長岡技術科学大）

P-10 胃モデル装置を用いたぜん動運動に誘起される内容物の流動の観測・解析

○小林功（食品総合研究所），神津博幸（食品総合研究所・筑波大），中嶋光敏，

Marcos A. Neves，植村邦彦（農研機構食品総合研究所），佐藤誠吾（筑波大），市川創作

- P-11 診断指標ペプチドの精製・検出を促進する新表面・新多孔体のキャラクタリゼーション
○樋之口由貴子 (シスメックス), 伊藤克法

座長 : 中村邦男 (酪農学園大院)

- P-12 焼成温度の異なる米粉スポンジケーキのテクスチャー特性
○平尾和子 (愛国学園短大), 米山陽子, 江木伸子

- P-13 和菓子用米粉のテクスチャー特性と調理法に関する研究
○高橋節子 (共立女子大), 近堂知子, 平尾和子 (愛国学園短大)

座長 : 平尾和子 (愛国学園短大)

- P-14 コラーゲンペプチドの保水特性
○池浦友美 (兵庫県立大院), 江口智美, 深江亮平, 吉村美紀

- P-15 雪中貯蔵によるコーヒー (雪室珈琲: 上越市安塚区雪室貯蔵) の機能性及び
呈味変化に関する研究
○神山伸 (新潟県立大), 小林和也 (新潟県農業総合研究所), 大内彩也夏 (新潟県立大),
大貫里沙, 滝澤麻紀, 藤野佳穂, 渡辺聡 (新潟県農業総合研究所), 曾根英行 (新潟県立大)

座長 : 藤井修治 (長岡技術科学大)

- P-16 生体内での亜硝酸からの一酸化窒素の生成反応条件の基礎的検討
○小川武人 (川崎医療福祉大), 望月精一

- P-17 茶の成分分析値と味覚センサー測定値及びヒト官能評価との相関について
○田村朝子 (新潟県立大), 伊藤梢 (県立新潟女子短大専攻科), 朝倉未幸 (新潟県立大),
跡部知里, 大橋美咲, 諏佐春華

第 3 日目 6 月 2 日 (土)

第 1 会場

9:00~10:00 OS6 : 生体物質の構造形成と機能発現 (2)

座長 : 林史夫 (群馬大院)

p.81~83

OS6-5 透析法で調製されたゲルの階層構造

○古澤和也 (北海道大院), 増元淳一, 長谷部舞 (北海道大理), 佐藤翔一 (北海道大院),
花崎洋平, 福井彰雅, 佐々木直樹

OS6-6 骨芽細胞によるマトリックスのリモデリングの解析

○花崎洋平 (北海道大院), 増元淳一, 古澤和也, 福井彰雅, 佐々木直樹

OS6-7 アルコールで溶媒置換されたアガロースゲルの力学物性

○金田勇 (酪農学園大), 茂垣匠

10:15~11:15 OS3 : 血液レオロジーと微小循環 (1)

座長 : 田地川勉 (関西大)

p.84~87

OS3-1 虚血性腎障害ラットモデルに対する脂肪組織由来幹細胞治療

—尿細管周囲毛細血管血流レオロジー—

○山本徳則 (名古屋大院), 鈴木哲 (名古屋大附属病院), 舟橋康人 (名古屋大院),
松川宣久, 後藤百万

OS3-2 複素導電率からみた豚赤血球細胞膜変化の実験的検討

○大隅玲緒 (上智大), 古山敦基, 藤井麻美子

OS3-3 赤血球表面と赤血球集合因子の相互作用の測定

○須田巧 (群馬大院), 外山吉治, 中村真彦, 窪田健二

OS3-4 フィブリン凝集における B β 鎖 N 末端領域の役割

○飯塚よし野 (群馬大院), 外山吉治, 石橋由佳, 窪田健二, 行木信一, 落合正則 (北海道大)

11:25~11:55 日本バイオレオロジー学会総会

13:00~14:00 学会賞受賞講演

司会 : 谷下一夫 (慶応義塾大), 佐藤正明 (東北大)

p.88

岡小天賞受賞講演

「バイオレオロジーからみた血液微小循環の動態」

○大島宣雄 (筑波大)

14:15～15:00 OS3 : 血液レオロジーと微小循環 (2)

座長 : 外山吉治 (群馬大院)

p.89～91

OS3-5 リシールした赤血球ゴーストの変形能評価

○柴田啓介 (千葉工業大), 戸田健太郎, 飯野正昭

OS3-6 マイクロチャンネル法によるヒト赤血球の形状回復時定数の測定

— 健常赤血球と糖尿病赤血球の比較 —

○田地川勉 (関西大), 久保田麻紀 (関西大院), 大場謙吉 (関西大),
池本敏行 (大阪医科大付属病院), 田窪孝行 (大阪医科大)

OS3-7 流路壁付近における血小板模擬粒子のふるまい

秋永剛 (関西大), ○田中慎之介, 板野智昭、関眞佐子

15:15～16:00 シンポジウム II : 「口腔内咀嚼過程の解析」

座長 : 神山かおる (食品総合研究所)

p.92～94

S2-1 ゲル状食品の咀嚼・嚥下とフレーバーリリース

○西成勝好 (大阪市立大院), 山口敦, Tom Brenner, Piyada Achayuthakan, Kun Yang,
Zheng Wang

S2-2 介護食品の咀嚼・嚥下特性とテクスチャーデザイン

○石原清香 (三栄源エフ・エフ・アイ), 中尾理美, 中馬誠, 船見孝博

S2-3 ゲル試料摂取時の舌圧測定

○堀一浩 (新潟大学院)

16:15～17:45 OS7 : ヘルスケア食品レオロジー

座長 : 市川寿 (長崎大院), 吉村美紀 (兵庫県立大院)

p.95～99

OS7-1 タピオカ澱粉配合麺の力学特性と若年者と高齢者による咀嚼特性の比較

○江口智美 (兵庫県立大院), 吉村美紀, 神山かおる (食品総合研究所)

OS7-2 ゲル状ブレンダー粥の口中感覚と力学的特性

○高橋智子 (神奈川工科大), 河村彩乃

OS7-3 氷温貯蔵における魚肉の物性変化と微生物増殖との相関性

轅川亜希子 (長崎大院), 工藤俊章, ○市川寿

OS7-4 ゲル強度に優れた魚鱗由来熱水抽出ゼラチンの調製

為田あすか (長崎大), 岡智子, ○市川寿 (長崎大院)

OS7-5 ゴマ豆腐のレオロジー特性に及ぼす混合澱粉の種類の影響

○佐藤恵美子 (新潟県立大), 船見孝博 (三栄源エフ・エフ・アイ), 筒井和美 (新潟県立大),
西成勝好 (大阪市立大院)

第 2 会場

9:00～9:45 OS5 : ティッシュエンジニアリング・人工臓器 (2)

座長 : 西田正浩 (産業技術総合研究所)

p.100～102

OS5-4 ヒト鮮血を用いた無細胞化処理及び滅菌した動物由来組織の非臨床超急性免疫反応評価

○岩崎清隆 (早稲田大), 松橋祐輝, 高橋東, 宮川充, 永井美玲 (東京女子医大),
尾崎重之 (東邦大医療センター大橋病院), 梅津光生 (早稲田大)

OS5-5 体外循環中の生体反応及び体外循環デバイス評価につながる小動物体外循環モデルの構築

○藤井豊 (国立循環器病研究センター・大阪大院), 白井幹康 (国立循環器病研究センター),
武輪能明, 築谷朋典, 巽英介, 妙中義之 (国立循環器病研究センター・大阪大院)

OS5-6 血管透過性による毛細血管ネットワークの再形成プロセスの評価

○谷村耕平 (慶應義塾大), 山本興子, 須藤亮, 谷下一夫

10:00～11:15 OS4 : 細胞・分子のメカノバイオロジー

座長 : 安達泰治 (京都大)

p.103～107

OS4-1 N-カドヘリンコートされたガラス基質上における単離神経細胞の運動解析

○鈴木健介 (京都大院), 須長純子 (京都大), 安達泰治

OS4-2 単独細胞の圧縮試験における破壊形態と伸長特性

○石井龍志 (新潟大院), 鳴海敬倫 (新潟大工), 泉健次 (新潟大歯), 塩見晶

OS4-3 STRESS FIBER と筋肉の収縮特性の違いについて

○出口真次 (東北大), 松井翼, 小松大貴, 佐藤正明

OS4-4 せん断応力負荷時における肝星細胞の遊走の変化

○藤田陵佑 (芝浦工業大院), 岩下洸 (芝浦工業大), 隅井干城 (九州大院), 工藤奨

OS4-5 引張刺激時における細胞内 ROCK2 局在の観察

工藤奨 (芝浦工業大), ○土屋宏紀 (芝浦工業大院), 白石智也 (芝浦工業大), 成瀬有佑